

2020年3月期 決算説明会

I. 2020年3月期 決算概要

II. 変革を加速する新たな取り組み

2020年5月22日



三井住友建設

I. 2020年3月期 決算概要

〔2020年5月13日公表〕



三井住友建設

01. 連結業績概要

01

- 売上高：手持工事の順調な進捗により、前期比で「増収」
- 利益：一部工事の損益悪化等により、前期比で「減益」

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	実績	前期比増減
売上高	4,173	4,488	4,724	+236
売上総利益	511 12.2%	510 11.4%	477 10.1%	△33
営業利益	306 7.3%	292 6.5%	248 5.2%	△44
経常利益	285 6.8%	289 6.4%	239 5.1%	△50
当期純利益(※)	207 5.0%	188 4.2%	156 3.3%	△32

※親会社株主に帰属する当期純利益



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

02. 国内・海外別業績【連結】

02

◆売上高

2020/3期 売上高4,724億円



	国内	海外	(構成比)
'18/3期	3,588	585	(14%)
'19/3期	3,848	640	(14%)
'20/3期	4,011	713	(15%)

◆売上総利益

2020/3期 売上総利益477億円



	国内	海外	(構成比)
'18/3期	450	61	(12%)
'19/3期	426	84	(16%)
'20/3期	419	58	(12%)

【国別売上高】

	'20/3期
インド	180
フィリピン	163
タイ	57
ミャンマー	49
その他地域	264
海外合計	713

【国内総利益・利益率】



【海外総利益・利益率】



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 建設受注高《個別》

03

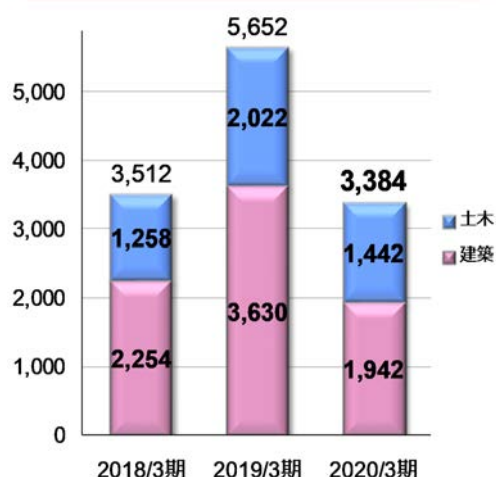
建設受注高

3,384億円

海外受注高（現地法人含む）

774億円

○受注高は前期に大型工事獲得したこともあり、土木／建築とも前期比で減少



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	実績	前期比増減
国内官公庁	818	810	738	△72
国内民間	212	353	411	58
海外	228	859	293	△566
土木工事	1,258	2,022	1,442	△580
国内官公庁	176	372	128	△244
国内民間	2,041	3,142	1,723	△1,419
海外	37	116	91	△25
建築工事	2,254	3,630	1,942	△1,688
国内官公庁	994	1,182	866	△316
国内民間	2,253	3,495	2,134	△1,361
海外	265	975	384	△591
合計	3,512	5,652	3,384	△2,268
海外（現地法人含む）	(689)	(1,376)	(774)	(△602)

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期決算説明会

04. 完成工事高《個別》

04

完成工事高

3,693億円

（前期比+5.5%）

土木 1,314億円

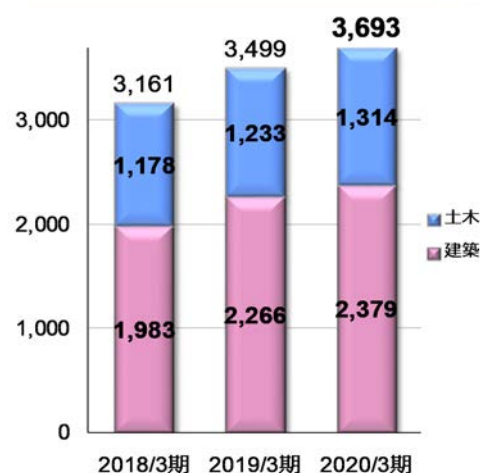
建築 2,379億円

○手持工事の進捗により前期比+5.5%増（土木+6.5%、建築+5.0%）

○繰越工事高は引き続き7千億円を超える高水準で推移

■完成工事高

（単位：億円）



	2018/3期	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	実績	前期比増減額 増減率
土木	1,178	1,233	1,314	+81 +6.5%
建築	1,983	2,266	2,379	+113 +5.0%
合計	3,161	3,499	3,693	+194 +5.5%

（参考）繰越工事高の推移

	2018/3期末	2019/3期末	2020/3期末
土木	2,379	3,168	3,297
建築	2,853	4,217	3,780
合計	5,232	7,385	7,077

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期決算説明会

完成工事総利益

354億円

(前期比 △45億円)

土木 162億円

建築 192億円

完成工事総利益率

9.6%

(前期比 △1.8pt)

土木 12.4%

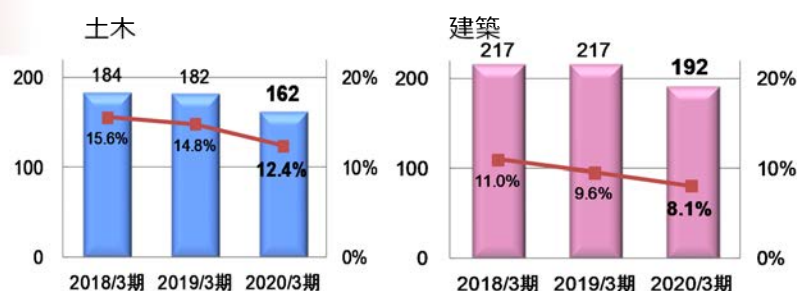
建築 8.1%

○完成工事総利益率は、土木・建築とも前期を下回る

■完成工事総利益（総利益率）

(単位：億円)

	2018/3期	2019/3期	2020/3期	
	実績	実績	実績	前期比増減
土木	184	182	162	△20
(率)	15.6%	14.8%	12.4%	△2.4pt
建築	217	217	192	△25
(率)	11.0%	9.6%	8.1%	△1.5pt
合計	401	399	354	△45
(率)	12.7%	11.4%	9.6%	△1.8pt



連結自己資本比率

27.1%

(前期末比 +0.5pt)

○利益剰余金の積上げにより自己資本比率は27.1%に向上

■連結自己資本



■連結財政状態

(単位：億円)

	2018/3期末	2019/3期末	2020/3期末	
	実績	実績	実績	増減
資産合計	3,177	3,409	3,534	125
負債合計	2,348	2,429	2,510	81
(有利子負債)	(241)	(316)	(398)	(82)
純資産合計	829	980	1,024	44
(自己資本)	(760)	(906)	(957)	(51)
自己資本比率	23.9%	26.6%	27.1%	+0.5pt

■連結キャッシュフロー

	2018/3期末	2019/3期末	2020/3期末	
	実績	実績	実績	増減
営業C F	283	△10	△180	△170
投資C F	△42	△64	△34	30
財務C F	△126	27	8	△19
期末現金同等物	711	664	458	△206

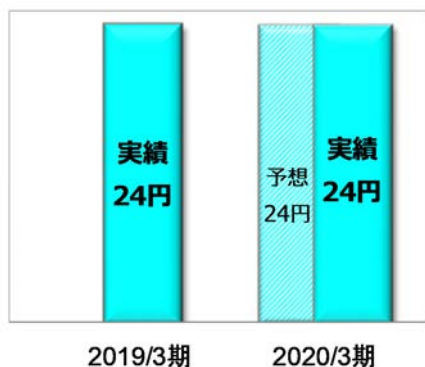
期末配当金

24.0円

(連結配当性向 24.5%)

○ 1株当たり配当金は前回予想どおり
24.0円を実施予定

○ 連結配当性向は24.5%



■ 配当の状況

	年間配当金 (円)			配当性向 (連結)
	第2四半期末	期末	合計	
2019年3月期	0.00	24.00	24.00	20.5%
2020年3月期	0.00	24.00	24.00	24.5%

◆ 2019年8月～9月に実施した自己株式の取得 約10億円を含めると、総還元性向は30.8%となります。

連結売上高

4,000億円

連結営業利益

180億円
(営業利益率 4.5%)

配当予想

18.0円
(連結配当性向 28.4%)

■ 連結業績予想

(単位: 億円)

	2020/3期	2021/3期	
	実績	業績予想	増減
売上高	4,724	4,000	△724
売上総利益	477	417	△60
営業利益	248	180	△68
経常利益	239	155	△84
当期純利益(※)	156	100	△56

※親会社株主に帰属する当期純利益

配当金	24円	18円
-----	-----	------------

建設受注高(予想)

3,350億円
 (土木 1,200億円)
 (建築 2,150億円)

完成工事総利益率(予想)

10.6%
 (土木 12.6%)
 (建築 9.4%)

■建設受注高(個別)

(単位: 億円)

	2020/3期	2021/3期	
	実績	受注予想	増減
土木	1,442	1,200	△242
建築	1,942	2,150	208
合計	3,384	3,350	△34

■完成工事総利益率(個別)

	2020/3期	2021/3期	
	実績	業績予想	増減
土木	12.4%	12.6%	+0.2pt
建築	8.1%	9.4%	+1.3pt
合計	9.6%	10.6%	+1.0pt

Ⅱ. 変革を加速する新たな取り組み

01. 当社のコロナ禍対応
02. Withコロナのマーケット展望
03. 基本方針各施策の取り組み



変革を加速する新たな取り組み

01.当社のコロナ禍対応

- ✓ 三井住友建設グループの基本方針を制定
- ✓ 当社作業所におけるコロナ対策

02.Withコロナのマーケット展望

【Withコロナを見据えた事業戦略】

- ✓ 中期経営計画で掲げた基本方針各施策をより積極的かつスピードを上げて取り組む
- ✓ Withコロナのマーケットニーズに適応する保有技術に注力

03.中期経営計画 基本方針各施策の取り組み

- ✓ 建設生産プロセスの変革：自動生産システム、独自構工法の展開
- ✓ 海外事業の強化：得意技術の海外展開、グローバル人材開発
- ✓ 事業領域の拡大：M&A投資による得意分野の成長戦略

Ⅱ. 変革を加速する新たな取り組み

01. 当社のコロナ禍対応

基本方針

三井住友建設グループの基本方針

役職員、家族、関係者の命と暮らしを守ることを前提として、
感染拡大の防止に向け、取り得る施策を最大限実施し、事業を継続する
「コロナ感染、みんなで守り ガマンで乗り切ろう!」

緊急対策本部を設置

本支店内勤部門の
在宅勤務の推進

内外勤問わず
時差出勤の徹底

出勤時のマスク着用
2m離隔確保の徹底

その他、移動制限、体温測定、発熱時対応フロー等の対応を徹底

基本方針

作業所におけるコロナ対策

「濃厚接触の禁止」
2mの離隔、30分以内

出勤時の体調確認実施

手洗い、消毒の徹底



これらの対策の徹底が命と健康を守りながらの作業所業務継続の根幹

Ⅱ. 変革を加速する新たな取り組み

02. Withコロナのマーケット展望



02. Withコロナにおけるマーケット展望

13

EC市場の拡大・定着



国内 海外

物流施設需要は堅調に推移
海外ではインフラ整備も期待

医療基盤の再構築



国内 海外

創薬、製薬、医療施設への
設備投資が拡大

都市基盤整備の促進



国内 海外

危機対応力強化のための
公共事業が活発化
(交通インフラ、避難施設等)

国内住宅市場は縮小



国内

事業性が向上する仕掛けが必要
海外

比較的好況な海外への展開

建設生産プロセスの変革

物流施設向け構法 ミック構法

海外事業の強化

独自保有技術の海外展開

建設生産プロセスの変革

Sukkiri for Pharmaの展開

事業領域の拡大

PPP/PFI事業の積極的参画

海外事業の強化

ODA事業への参画強化

事業領域の拡大

橋梁・PC分野の更なる強化

建設生産プロセスの変革

新型SuKKiTシリーズの展開

海外事業の強化

住宅事業など新領域への進出

EC市場の拡大・定着



医療基盤の再構築



都市基盤整備の促進



国内住宅市場は縮小



建設生産プロセスの変革

海外事業の強化

事業領域の拡大

中期経営計画の基本方針各施策を
より積極的かつ加速させて取り組む



より強固な事業基盤の構築が可能

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

Ⅱ. 変革を加速する新たな取り組み

03. 基本方針各施策の取り組み

中期経営計画 基本方針各施策体系図



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

建設生産プロセスの変革

ICTを活用した生産システムの推進

PATRAC-PM（パトラック・ピーエム）

作業員位置情報をリアルタイムで識別し、PCa工場の製造プロセスを最適化

✓ 生産データの自動収集

- ・各作業の作業時間や移動履歴などを
- ▼ 高精度に自動収集

✓ 生産性向上のための各種分析

- ・生産データの集計・蓄積・評価により
- ▼ 各作業を是正

✓ 工場製造プロセスの最適化



【PATRAC（PATRAC-PM）のイメージ図】

**生産性向上に向け、
 グループ会社のPCa工場に導入**

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

建設生産プロセスの変革

17

ロボットを活用した自動化生産システムの導入

Robotaras™ (ロボタラス)

ロボットによる鉄筋の配置と結束作業の自動化で生産性が大幅に向上

✓省人化・省力化

- ・ 鉄道軌道スラブ製造に適用
- ・ 人の作業は材料補充などの補助作業のみ

✓当社グループのPCa工場に展開

- ・ 道路や超高層マンションに用いられるPC・PCa部材の製造に展開

ロボットの活用により
生産性が約50%向上



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

建設生産プロセスの変革

18

Sukkiri for Pharma の展開

医薬品製造設備のモジュールユニット化技術

工場にて組立から性能試験まで行った製造機器ユニットを現地に設置



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

建設生産プロセスの変革

19

Sukkiri for Pharma の展開

医薬品製造設備のモジュールユニット化技術

工場にて組立から性能試験まで行った製造機器ユニットを現地に設置

Sukkiri for Pharmaのメリット

1 現地施工期間の短縮

- ・ユニット製作と現地工事を平行して行うことで、全体工期を短縮

3 既存施設への実装改修可能

- ・ユニット式なので、既存建物への実装改修も容易(床耐荷重条件あり)

2 ユニット化による試験検証の効率化

- ・現地での再組立及び性能試験等が簡略可能

4 製造ラインの組替えが容易

- ・ユニットの交換によりライン構成の追加変更フレキシブルに対応可能

高品質・短工期・フレキシブルといった顧客ニーズに沿った生産技術

今後、設備投資が見込まれる医薬品企業に対して積極的に展開

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

建設生産プロセスの変革

20

優位技術を活用した独自構法の開発展開

ミック構法－物流施設向け独自構法

柱RC梁S構造で機能性・経済性を満足させたハイブリッド構造

- ✓ 適材適所で短工期・低コスト
 - ・施設の早期稼働・事業性向上に寄与
 - ✓ PCa技術、PC技術を活用
 - ・更なる高機能・高品質・短工期化
 - ✓ 近年の採用案件（抜粋）
 - ・厚木物流センター
 - ・丸全昭和運輸(株)堺浜倉庫
- その他施工中1件、設計中2件進行中

物流施設構法に当社PCa技術、PC技術を活用し技術優位性を確立

厚木物流センター

丸全昭和運輸(株)堺浜倉庫



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

建設生産プロセスの変革

21

優位技術を活用した独自構法の開発展開

SuKKiTシリーズ

事業性向上にも寄与する
SuKKiTシリーズ新商品の開発・展開

Sulatto V Tower

(スラット ブイ タワー)

- ✓ 高層階の建物ボリュームが大きい形態

高層階の住戸面積比率が約20%増加

SuKKiTシリーズとは
質の高い住空間を合理的に実現する
オリジナルのマンション構法シリーズ

都心部の超高層住宅計画を中心に提案実施



SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

海外事業の強化

22

保有技術の海外展開

海外工事におけるPCa工法の展開

フィリピン、インド、ベトナムではPCa化による高品質・高生産性を実現

- ✓ 現地のPCa化技術に日本の技術を加味して、設計施工プロセスを構築
- ✓ PCa化の普及により、生産施設以外の用途の受注機会が増加
- ✓ 今後はPCa未導入の地域も積極的に展開



商船三井商船大学(フィリピン)

海外拠点におけるPCa技術の本格的導入およびPCa化率の向上を目指す

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

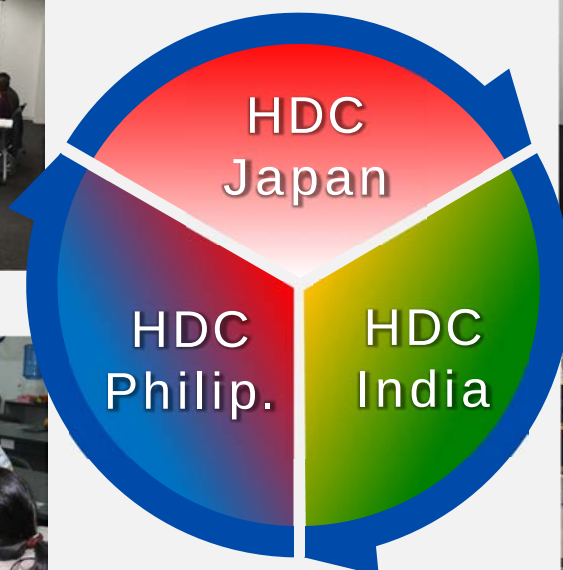
03. 基本方針各施策の取り組み

海外事業の強化

23

HDC（人材開発センター）

自社の教育機関を世界中で展開する唯一のゼネコン



日本、フィリピン、インドのHDCにより体系的にグローバル人材を育成

SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

03. 基本方針各施策の取り組み

事業領域の拡大

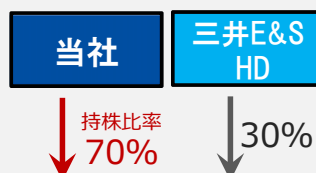
24

M&A投資による得意分野の更なる成長戦略

橋梁事業領域の拡大

(株)三井E&S鉄構エンジニアリング株式取得に関する基本合意書の締結

基本スキーム



三井E&S鉄構
エンジニアリング
(鋼橋専門業者)

↓99.9%
ドーピー建設工業
(PC専門業者)

PC橋の当社シェアの拡大

概ね12%



概ね15%

(※当社調べ)

橋梁完工高の増大

300億規模



500億規模

(PC橋+鋼橋+補修補強)

※過去実績値に基づく試算値(参考値)

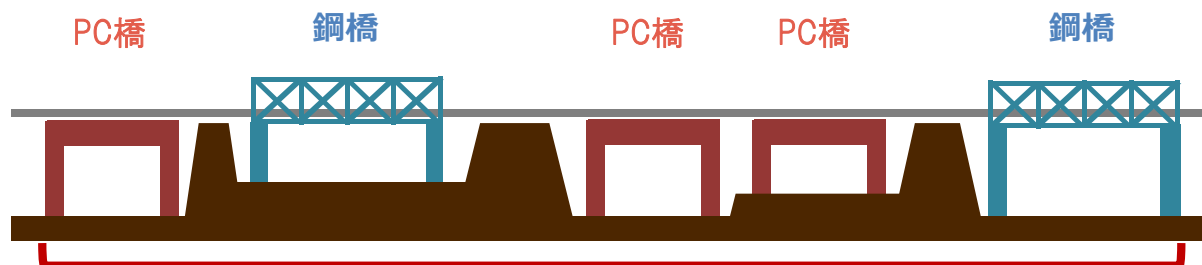
SUMITOMO MITSUI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2020年3月期 決算説明会

M&A投資による得意分野の更なる成長戦略

橋梁事業領域の拡大

橋梁大規模更新事業の受注拡大



複数区間の包括契約案件（PC橋と鋼橋が混在）の総合的な施工力確保



M&A投資による得意分野の更なる成長戦略

橋梁事業領域の拡大

海外大規模複合橋工事への展開



海外における大規模なハイブリッド橋梁施工への総合的な技術力向上



M&A投資による得意分野の更なる成長戦略

橋梁事業領域の拡大

PC橋分野での
シェア拡大

PC橋技術の向上
生産性の向上



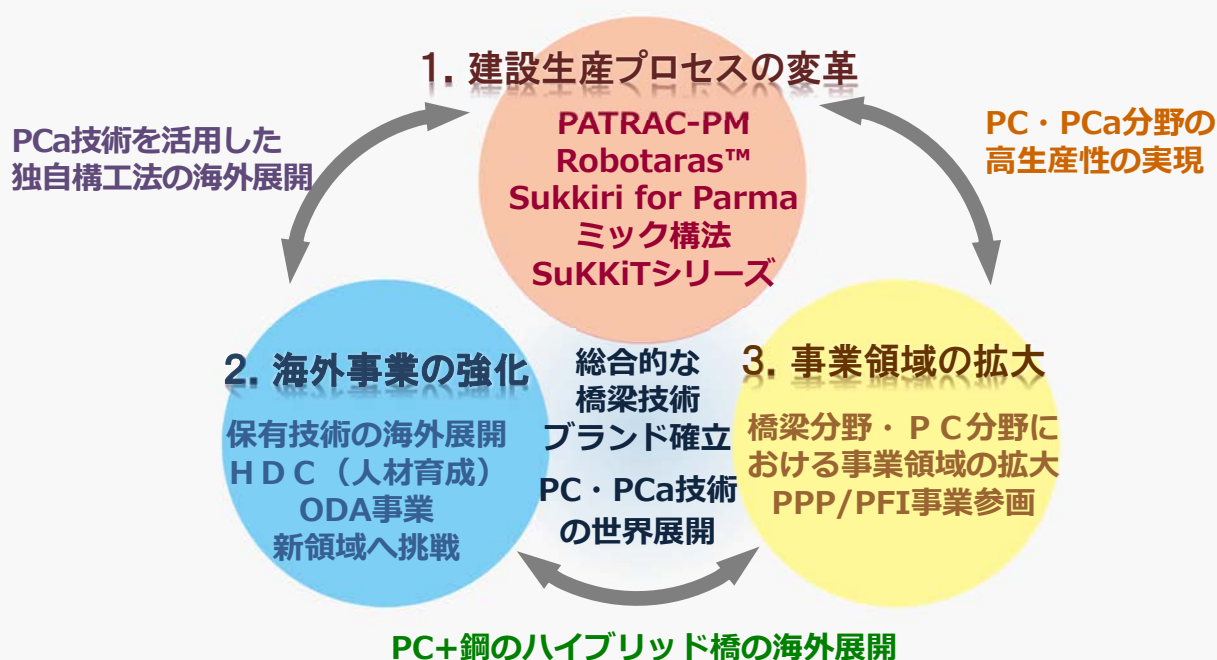
鋼構造物分野進出の
足掛かりとしての
事業基盤を獲得

鋼橋構造技術の獲得
ハイブリッド橋への展開



橋梁設計施工における「総合力」の強化

中期経営計画 基本方針各施策体系図





三井住友建設

お問い合わせ先

経営企画本部 企画部

Tel. 03-4582-3016 Fax. 03-4582-3205

本資料に掲載しております計画、予測または見通しなど将来に関する事項は、本資料の発表日現在における当社の戦略、目標、前提または仮定に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の計画、予測または見通しなどと異なる結果となる可能性があります。